

=====

～ 日本肺循環学会ニュース ～

第 28 号 (2015/3/3)

<http://www.jpccs.gr.jp/>

=====

## 1. 施設紹介

症例登録研究に参加いただいている施設を、こちらで順次紹介します。  
今回は、『名古屋大学循環器内科』です。

.....

当科では、肺高血圧症治療をより充実させるため、2012年4月より肺高血圧先端医療学寄附講座を設置していただき、専門教官2名（寄附講座教授ならびに助教）が配置されました。さらに大学院生3名が加わり、現在は合計5名で診療を行っております。

患者は紹介患者が大部分を占め、殆どが当科関連施設からの紹介です。愛知県内だけでなく、遠方から通院される方もいらっしゃいます。紹介患者の増加に伴い、エポプロステノールやトレプロステニル使用患者など、重症例や治療困難な症例が増えてきております。学会や研究会等に積極的に参加し、全国の肺高血圧治療を専門としている先生や専門看護師と意見交換し診療にあたっております。学内では、毎日の肺高血圧グループでの回診に加えて、毎週多職種カンファレンスを行い、患者情報や治療方針の共有を心がけております。一方、懸命に治療をしてもなかなか改善に結びつかない患者さんもいらっしゃるのが現状で、日々悩みながら診療しております。

肺高血圧治療では、当科以外の多くの専門家の協力が必要です。実際当院では、呼吸器内科、血液内科、総合診療部、皮膚科、心臓外科等と密接に連携を取りながら肺高血圧の診断・治療を行っております。他科の先生方からの「肺高血圧症疑い」でご紹介いただいた患者に関しては、右心カテーテル検査を行っております。

最近のトピックスとして挙げられるものは、慢性血栓塞栓性肺高血圧症（CTEPH）の治療です。従来、CTEPH症例は安藤太三先生（前藤田保健衛生大学心臓血管外科教授、現大雄会心臓血管センター長）に相談し、手術適応症例に肺動脈血栓内膜摘除術を施行しておりました。安藤先生に手術適応外と診断された症例において、当院でも2014年秋よりカテーテルによる肺動脈バルーン形成術を行うようになりました。今後引き続き症例を蓄積して行きたいと思っております。

肺高血圧症の診断と治療に関しては医療関連施設や一般市民に対して、まだまだ啓発活動が必要な状態です。今後は、早い段階での当院への紹介や強皮症スペクトラム患者に対する積極的スクリーニングを広めていきたいと考えています。

（名古屋大学医学部附属病院：平敷安希博、室原豊明）

.....

## 2. 症例登録研究の登録状況について

2015/3/2 現在の登録状況をお知らせします。

【総登録数】 1018 例（21 施設）

登録施設：

1. 東北大学病院 循環器内科 570 例
2. 三重大学医学部附属病院 循環器内科 155 例
3. 福岡大学病院 循環器内科 126 例
4. 佐賀大学医学部 循環器・腎臓内科 30 例
5. 山形大学医学部附属病院 循環器内科 28 例
6. 浜松医科大学医学部附属病院 臨床薬理内科 25 例
6. 筑波大学附属病院 循環器内科 25 例
8. 兵庫医科大学 循環器内科 13 例
9. 神戸大学医学部附属病院 循環器内科 11 例
10. 富山大学大学院 医学薬学研究部 内科学第二 7 例
11. 京都府立医科大学 循環器内科 6 例
12. 東邦大学医療センター大森病院 小児科 5 例
13. 名古屋大学医学部附属病院 循環器内科 3 例
13. 社会医療法人社団光仁会 総合守谷第一病院 循環器科 3 例
13. 医療法人橘会 東住吉森本病院 循環器内科 3 例
16. 熊本大学大学院生命科学研究部 循環器内科 2 例
16. 久留米大学病院 2 例
18. 岡山大学病院 循環器内科 1 例
18. 医療法人竜仁会 牛尾病院 循環器科 1 例
18. 公立藤岡総合病院 循環器科 1 例
18. 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 1 例

## 3. 症例登録研究の参加について

症例登録研究へのご参加を、是非ご検討ください。

ご参加いただける場合は、学会事務局までご連絡ください。

プロトコル等の資料を送らせていただきます。

倫理委員会承認後に、web システムの ID/パスワードを発行させていただきます。

また、テスト ID もご用意しておりますので、システムをご覧になりたい場合も学会事務局までご連絡ください。

\*このメールは日本肺循環学会に e-mail アドレスを登録されている会員に配信しております。